

安全データシート

1 化学品及び会社情報

<製品名>	: アビオンーE
<会社名>	: 株式会社アビオンコーポレーション
<住所>	: 東京都世田谷区野毛3-6-11
<担当部門>	: 管理部
<電話番号>	: 03-6432-3401
<FAX番号>	: 03-6432-3403
<緊急連絡先>	: 福岡工場（電話番号：0943-25-1500）

2 危険有害性の要約



<GHS分類>	: 急性毒性（経口）	区分外
	急性毒性（経皮）	区分外
	皮膚腐食性／刺激性	区分外
	皮膚感作性	区分1B
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分2B
	特定標的臓器／全身毒性（単回曝露）	区分3（気道刺激性）
	水生環境急性有害性	区分外
	※記載がないものは「分類対象外」又は「分類できない」	
<注意書き>		
危険性	: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 眼刺激性。 呼吸器への刺激のおそれ。	

安全対策	: 使用前に取扱説明書を入手し、すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。 指定された個人用保護具を使用すること。
応急処置	: 曝露または曝露の懸念がある場合、医師の診断、手当てをうけること。
廃棄	: 内容物、容器を都道府県知事／市町村の規則に従って、適切に廃棄すること。

3 組成及び成分情報

<単一製品・混合物の区別> : 混合物

<当該製品の一般名称> : 展着剤

<成分、及び含有量>

[有効成分]

化学名又は一般名 : パラフィン

分子式 (分子量) : C_nH_{2n+2}

官報公示整理番号 : (8)-414

CAS 番号 : 8002-74-2

濃度又は濃度範囲 : 24%

[その他の成分]

化学名又は一般名 : 水及び乳化剤等

分子式 (分子量) : —

官報公示整理番号 : —

CAS 番号 : —

濃度又は濃度範囲 : 76%

4 応急措置

<吸入した場合> : 速やかに空気の新鮮な場所に移し、安静を保ち、呼吸を楽にさせる。身体に異変を感じた場合は、直ちに医師の手当てを受ける。

<皮膚に付着した場合> : 直ちに汚染された衣服や靴などを脱がせ、付着部または接触部を大量の水と石鹼で皮膚を洗浄する。皮膚に異常がある場合は直ちに医師の手当てを受ける。

- <目に入った場合> : 直ちに多量の流水で十分に洗眼し、眼科医の手当てを受ける。
- <飲み込んだ場合> : 吐き出させ、直ちに医師の手当てを受ける。
-

5 火災時の措置

- <適切な消火剤> : 粉末消火剤、炭酸ガス、泡等。
- <消火方法> : 呼吸装置を着用し、風上から行う。
- <使ってはならない消火剤> : 棒状放水（本品があふれ出し、火災を拡大するおそれがある。）
- <特有の危険有害性> : 火災によって刺激性又は毒性のガスを発生させるおそれがある。
-

6 漏出時の措置

- <人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 >
- : 漏洩エリア内に立ち入る時は保護具を着用する。
密閉された場所に立ち入る時は、事前に換気を行う。
- <環境に対する注意事項> : 河川、下水道、土壤に排出されないように注意する。
- <封じ込め及び浄化方法及び機材等>
- : 回収後の少量の残留分は土砂又はおがくず等に吸収させる。漏出物を直接河川や下水に流してはならない。
-

7 取扱い及び保管上の注意

- <取扱い上の注意事項> : ラベルをよく読み、記載以外に使用しない。
幼児の手の届くところには置かない。
容器を転倒させる、落下させる、衝撃を加えるなどの取り扱いをしてはならない。
眼、皮膚、衣服に付けないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
- <保管上の注意事項> : 直射日光を避け、なるべく冷涼な場所に密栓して保管する。凍結すると物理性の劣化により使用できなくなるので、氷点下の所には保管しない。
- <混合接触させてはならない化学物質>
- : 強酸化剤。
-

8 ばく露防止及び保護措置

<ばく露防止>

許容濃度（曝露限界値、生物学的曝露指標）

: 設定されていない。

<保護措置>

保護具

- 呼吸器の保護具 : 適切な保護マスクを着用すること。
手の保護具 : 適切な不浸透性手袋を着用すること。
眼の保護具 : 適切なゴーグル型保護メガネを着用すること。
皮膚及び身体の保護具 : 適切な不浸透性作業衣を着用すること。
-

9 物理的及び化学的性質

- 外観等 : 白色粘稠乳濁液。
pH : 6.3（500倍希釈液）
6.3（1000倍希釈液）
-

10 安定性及び反応性

- <安定性> : 通常の条件下では安定。
<反応性> : 通常の下では安定。
<混触危険物質> : 強酸化剤。
<危険有害な分解生成物> : 一酸化炭素、二酸化炭素。
-

11 有害性情報

- <急性毒性> : 有効成分パラフィンを含む36%含有する類似製品のデータ
ラット経口 LD₅₀ >5000mg/kg に基づき、区分外とした。
ラット経皮 LD₅₀ >2000mg/kg に基づき、区分外とした。
- <刺激性> : 有効成分パラフィンを含む36%含有する類似製品のデータ
皮膚 ; 刺激性が見られなかったことから区分外とした。
眼 ; 軽度の刺激性が見られたことから区分2Bとした。
- <皮膚感作性> : 有効成分パラフィンを含む36%含有する類似製品のデータ
軽度の皮膚感作性が見られたことから区分1Bとした。
- <特定標的臓器/全身毒性> : (単回曝露)
区分3 (気道刺激性) に分類されるパラフィンを20%
以上含むことから区分3 (気道刺激性) とした。
-

12 環境影響情報

<水棲生物毒性> : 有効成分パラフィンを含む36%含有する類似製品のデータ

ニジマス	LC ₅₀ (96 時間)	>100mg/L
ミジンコ	EC ₅₀ (48 時間)	>100mg/L
藻類	EC ₅₀ (0-72 時間)	>100mg/L

よって区分外とした。

13 廃棄上の注意

<安全で環境上望ましい廃棄の方法>

: 使用後に残った農薬及び使用済み容器に付着した農薬は河川、用水路、下水等の水系に廃棄しない。空容器等は圃場に放置せず、関係法令を厳守し、廃棄物処理業者に処理を委託する等により適切に行う。

14 輸送上の注意

<輸送に関する国際規制によるコード及び分類>

: 国連分類 該当しない。

包装、容器が破損しないよう、水漏れや乱暴な取扱いは避ける。

15 適用法令

<農薬取締法>	: 登録番号 第 12058 号
<労働安全衛生法>	: パラフィン 政令第 171 号
<消防法>	: パラフィン 指定可燃物
<水質汚濁防止法>	: パラフィン 油分排出規制
<海洋汚染防止法>	: パラフィン 油分排出規制
<下水道法>	: パラフィン 鉱油類排出規制

16 その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

記載内容は提供情報であって、保証するものではありません。
